

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	遺跡ネットワーク整備事業			事業コード	0933
担当課等	所属名	教育委員会 歴史文化課		担当係名	
	課長名	教育委員会事務局 歴史文化課	担当者名	今野公顕	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	共に生き未来を創る教育・文化	コード 4	施策	歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用	コード 5
	基本事業	歴史的文化遗产の保護と活用	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 10款 6項 1目 遺跡の広場整備事業(006-01) 一般会計 10款 6項 6目 学芸事業(遺跡の学び館)(002-01)	
	特記事項	総合計画主要事業, 新市建設計画事業				
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒(開始年度 1999年度~)		
事務事業の概要	市内の指定遺跡や歴史上重要な遺跡の保存整備を行い, 市民に広く公開して活用を図る。					
根拠法令等	文化財保護法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>それまで個別に保存されてきている指定史跡や重要遺跡を関連付けて保存し, 積極的な活用を図るため, 平成12年(2000)1月に盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会を設置した。国指定史跡志波城跡や国指定史跡盛岡城跡を中核に, 県指定史跡大館町遺跡など市内外の重要遺跡を繋ぎ, 関連付けて保存し活用する方法を模索してきている。平成16年(2004)6月に遺跡の学び館が開館し, 同館を拠点に各種保存活用事業, 普及事業を進めているほか, 各種出前講座にも対応している。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民, 議会, 事業対象者, 利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<p>平成21年3月議会において安倍館遺跡の調査と保存整備の方向性について, 平成21年6月議会では大館町遺跡の公有化と整備についての質問や要望があった。平成22年度まちづくり懇談会において, 大館町内会から大館町遺跡への誘導看板設置要望が出された。文化財に対する市民の関心は高まっており, 現地説明会や各種講座の開催要望や受講者も多くなってきている。</p>						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
<p>昭和50年代からの開発事業の増加に伴う緊急発掘調査が増加し, 埋蔵文化財や史跡の保存活用に対する市民の関心も高まってきている。それに伴い, 発掘調査成果をどのように活用していくのか, 史跡や重要遺跡をどのように保存し, まちづくりにどのように生かしていくのが求められるようになった。そこで, 個別に指定されている文化財や史跡, 遺跡相互の関連性を重視した保存活用の方向を探り, 官民一体となった文化財の保存活用の総合的なあり方を模索することとしている。</p>						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を, 何を対象としているのか)	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 指定史跡及び保存活用を目指す遺跡数	単位	件
			B. 盛岡市の人口	単位	人
			C.	単位	
③手段 (事務事業の内容, やり方, 手順)	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 環境整備を行った遺跡・文化財件数	単位	件
			B. 大館町遺跡の公有化面積	単位	m <sup>2</sup>
			C. 遺跡説明会・体験学習・展示会・出前講座等の開催回数	単位	回
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 大館町遺跡の公有化率 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
			B. 遺跡説明会・体験学習・展示会・出前講座等活用事業参加者数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	人
			C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	文化財数(国・県・市指定)(単位: 件) 市保存建造物数(単位: 件) 歴史・文化資源(石碑・記念碑・歌碑など)累積調査件数(単位: 件)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	指定史跡及び保存活用を目指す遺跡数	件	67	67	67	67	67	68	26年度 70
対象 指標B	盛岡市の人口	人	292035	297267	297267	298148	298148	298148	26年度 298148
対象 指標C									年度
活動 指標A	環境整備を行った遺跡・文化財件数	件	3	3	3	3	3	3	26年度 4
活動 指標B	大館町遺跡の公有化面積	m <sup>2</sup>	12047	12047	12047	12047	12074	12047	26年度 12047
活動 指標C	遺跡説明会・体験学習・展示会・出前講座等の開催回数	回	18	47	48	50	51	52	26年度 54
成果 指標A	大館町遺跡の公有化率	%	83	83	83	83	83	83	26年度 83
成果 指標B	遺跡説明会・体験学習・展示会・出前講座等活用事業参加者数	人	8849	11558	11580	15441	15500	15550	26年度 16000
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	467	461	4,108	4,108	3,862	3,862	*****
財源 内訳	④国	千円			1,390	1,390	1,313	1,313	*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	467	461	2,372	2,514	2,239	2,239	*****
	⑧その他(関連図書売払収入等)	千円			346	204	310	310	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	467	461	4,108	4,108	3,862	3,862	*****
	延べ業務時間数	時間	195	198	400	400	400	400	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	780	792	1,600	1,600	1,600	1,600	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,247	1,253	5,708	5,708	5,462	5,462	*****

3. 事務事業の評価(See)


必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 文化財保護法や県条例、市条例に基づいた事業であり、個別の文化財や史跡を関連付けて保存整備し公開することは、市民が郷土の歴史を学び、文化を共有し、歴史を生かした街づくりを進めていく環境整備につながる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳ 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 発掘調査や研究の進展により、史跡や遺跡相互の関連性が明確になり、保存活用すべき歴史的資産が増加する。 ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input checked="" type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 史跡や遺跡のみならず、周辺環境や関連する文化財も相互に関連付けて保存活用することにより、地域の歴史的特質や魅力が明確になる。遺跡の説明板や標柱の増設、内容の改定を勧めるほか、地域の歴史を開設する教育普及資料の作成を進め、史跡や文化財の学習と活用環境を整備する。 ↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 今の段階では各遺跡や史跡、文化財の歴史的意義や相互の関連性について、不明確部分が多い。遺跡や文化財の存在自体が市民に十分に認知されているとは言いがたい。周知度は徐々に高まってきている一方で、文化財の顕彰や教育普及活動など、行政側の取り組みも十分とは言いがたい。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 廃止・休止の場合、文化財愛護思想や歴史学習等の活動の後退につながる。当市の根拠をなす歴史をないがしろにすることはできない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____ ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費の多くは遺跡の環境保全や維持管理等経費であり、積極的な整備事業ができない。解説についても概略的な物となっており、遺跡の周知や内容理解のためには、まだまだ限定的である。また、各遺跡の保存管理計画や整備計画も未策定である。良好な歴史環境を守るためには、今後も土地の公有化を進める必要がある。事業費の削減は、事業の衰退・停止につながる。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 事業費同様に人件費や職員体制の縮小は、この投資の歴史環境を整備する上で事業の衰退を意味する。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 全市民に関係する事柄である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	

理由:全市民に関係する事柄である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)                  ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること                  公開講座や説明会等の事業の積極的な実施、パンフレット等の配布、遺跡の標柱や説明板等の更新・増設などによる市民への周知を一層進める。当市を代表する歴史環境を保全するため、主要遺跡の保存管理計画策定、遺跡の公有化、学術調査の実施を推進できる事業規模とする。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？                  (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)                  土地の公有化計画や整備計画、教育普及計画等の事業内容、指定計画、調査計画、を再検討し、事業費の増減などを明確にした上で部内、庁内の調整を行い、必要な予算確保に努める。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>市内の主要遺跡を核とした遺跡の保存活用を図ることとし、県指定史跡の大館町遺跡、安倍館遺跡などの環境保全に努めた。一方、各遺跡や史跡、文化財の歴史的意義や関連性について、不明確な部分が多く、学術調査の実施や、公有化を推進するための財源確保が課題である。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携                 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
														
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>重要遺跡の保全と調査を進めるとともに、計画的な保存管理のあり方を検討しなければならない。</p>														